

・視察経費分 2万5970円  
 ・合計 30万9284円

●支出  
 ・視察代（鉄道賃を含む） 6万5700円

・宿泊・食事代（4回） 21万5514円

・視察先 手土産代 2100円

・道路使用料・燃料代 2万5970円

・合計 30万9284円

### 研修視察内容

・家中川小水力市民発電所「元気くん1号」他  
 山梨県都留市

平成24年7月1日から、再生可能エネルギーの買い取り制度が施行。これにより原発・化石燃料発電から再生可能エネルギーによる発電に移行が進むことになる。山間部では、小水力発電が地形からいっても可能、かつ有望であると言われている。先進地である都留市は、市全体がエコ構想を維持し、小水力発電

はその一環である。江戸時代から灌漑水路が発達し、明治以降には織物の染色に使われていたため市内の水路が大きく整備されている。小水力発電施設「元気くん第1号」は、平成16年稼働／開放型下掛け水車／12kw／費用4千万円。「元気くん第2号」は、平成22年稼働／開放型上掛け水車／18kw／費用6千万円。「元気くん第3号」は、平成24年稼働／開放型らせん水車／4kw／費用3千5百万円。

発電した電力は、市役所、エコハウス、植物栽培展示施設、ミュージアムの電力に消費され、夜間や休日は電気事業者に売電している。

### ・「農家の台所」

銀座店 東京都中央区

チェーン店「農家の台所」で初のビュッフェスタイルのお店、(有) 国立ファームが設立した。都心4店舗で経営する「八百屋」も含め、生産・加工・販売の6次産化を実践し、銀座並木通りに面したビルにある「農家の台所」

は、平日にもかかわらず満員状態であったが、価格や客の回転等難しさが感じられた。

### ・いすみ鉄道

千葉県夷隅郡大多喜町

ムーミン列車や旧型ディーゼル車（キハ）を走らせて、それまで年間1億円の赤字を出し続けた路線を、たった1年で黒字路線にした。公募の社長である鳥塚亮氏の手腕は大きい。様々な嗜好を凝らした演出が駅や列車に施されている。駅名や枕木のオーナー制。また、車内販売や駅売店ではビンのコーラやファンタ。ムーミン・キャラクターの飴、レトルトカレー、ビスケット、チョコレートなどを販売している。大系線を走っていたキハ52は、週末の（鉄道ファン）イベント列車として運行されている。営業実態は、地域住民の交通手段での必要経費として、関係自治体が年額1億円を下支えしている。



ムーミン列車 いすみ鉄道株式会社 千葉県夷隅郡大多喜町 7月6日